

いろいろなこうじょう  
**外郎売の口上**  
 研究会

私たちは「外郎売の口上」を  
 ～声に出して楽しむ会です～



第8回 外郎売の口上大会  
 演目・群読 出場者 募集!

いろいろなこうじょう  
 いろいろなこうじょう

**第8回外郎売の口上大会に出場者を募集!**

小田原の伝統文化「外郎売の口上」を皆様と一緒に。

※開催概要および募集要項は裏面をご覧ください※

- 開催日 2011年8月27日(土)
- 会場 小田原市民会館 大ホール(入場無料)
- 開演 13時00分
- 終演 15時00分予定
- 主催 外郎売の口上研究会
- 後援 神奈川県教育委員会・小田原市・小田原市教育委員会

2004年より始まりました「外郎売の口上大会」は  
 おかげさまでもちまして第8回目を迎えることができました。



第7回外郎売の口上大会 群読の様子

『外郎売の口上』とは

「拙者親方と申すは、御立會の中へ御存じのお方もござりませうが、お江戸を立つて二十里上方、相州小田原一しき町をお過ぎなされて、青物町を・・・」  
 役者やナウンサーの滑舌練習や、朗読の教材としても知られているこの台詞は、歌舞伎「外郎売」の言立といつてなすなわちこれを「外郎売の口上」といふのである。

・・・古の時を遡る古今から三百年前。

歌舞伎役者二代目市川團十郎は咳と痰の病に罹り、役者を諦めかけていたところ、よつが小田原の薬のういろうを服用してみると胃心肺肝が健やかに、また舞台上に立つようになったといふ。役者が続けらるようになった團十郎は、喜び勇んでお江戸から小田原の外郎家に参上し、御礼にういろうの効能を舞台で披露のせていただきたいと願ひ申し出た。「イヤイヤそんなことはなほひつ」と当主藤右衛門さん。「イヤイヤ恩返しは是非とも」と團十郎の篤い思いから出来上がったのが、のちに市川家の歌舞伎十八番となる「外郎売」じゃ。

この「外郎売」は享保三年(一七二八)正月、江戸森田座で「若緑 勢管我」の一場面として上演されてな、外郎売(薬を売り歩く商人)に扮する曾我五郎が、ういろう(透頂香)の由来や効能を立て板に水の如く早口で言立て、観衆からヤンヤンヤの大喝采を浴びたのが始まりとされておる。が、外郎売は想像上の人物であるから、実際についてを売りの歩いてきた事実もないのだが、誠に流暢で華やかな舞台で、「口上」を騙れたいという方も多くなつていふ。

「みなさまお立ちあがり、声に出して楽しんでみませう。」「ホノ敬まへ、いろいろなこうじょうをぜひ楽しんでみませう。」

